



JOSEI KANAGAWA

浄青神奈川

大本山光明寺法主宮林昭彦台下御染筆

神奈川浄青機関紙

No.29

発行責任者 夏見裕貴

発行 浄土宗

神奈川教区

青年会

発行日 H.14.6.1

りん
輪に
意わ
和い
以

Let's 和 GO !!



第14代会長 夏見裕貴

はじめに

今から二十年前、横浜にある戸塚公会堂において、神浄青創立10周年記念行事の「引声法要」を見聞し、入会間もない大学生であった私は、法要の素晴らしさや会員のスケールの大きさ等、感動したことをつい昨日のように思いだされます。

今回、浅学非才の身でありながら第十四代会長を拝命し、脈々と受け継がれてきた伝統と、諸先輩方に神浄青という団体の活動を通し様々な事をご教示いただいた経験を活かし、諸事活動をしてまいりたいと思います。

第十六期神浄青は、「和」を基本理念とし、会員同志が仲良く慈しみあい、お互いに尊重する心を、活動テーマ「輪意和以」―Let's 和 GO 二―として、実践を通して「和」の充実を図り、神浄青三信条「自行・化他・和合」のもと、会員が自らの手で各事業に携わり、創り上げる過程での楽しさやつらさ、そして円成した時の充実感や達成感を共有し、友情を育み、一人一人の意（こころ）を大きな輪とできるような活動をしてまいりたいと思います。

●念仏行者（自行・会員の資質向上事業）

私共は、大本山光明寺を子供の頃から、ことあるごとにご縁を結んでおります。御開山、浄土宗第三祖然阿良忠上人は健脚を駆使され、広い地域にお念仏のみ教えをひろめられたお方であります。

ご縁ある、光明寺開山堂落慶という記念の機に、良忠上人のご遺徳を

偲び、真の念仏行者とは何なのか？実践を通して考えたいと思います。

●未来ある子供たちへ（化他・社会教化事業）

現代社会は、「こころ」の時代と呼ばれ、一宗においても、「こころ」をテーマに教化活動を行なっています。親と子供の絆、虐待・切れる子供という言葉や活字はメディアを通して、毎日のように取り上げられ、心の健康に関する記事が掲載されております。

地球の宝である未来ある子供たちに生涯学習的な要素を含んだ、豊かなこころを育み、私達が暮らす地球、そして自然の恩恵に感謝する心、世界中の皆と仲良く暮らせるおもいやりの心を育む活動に取り組んでまいりたいと思います。

●家族の顔がみえる青年会（和合・会員相互の親睦事業）

神浄青はそれぞれの組というものが確立され、組単位の活動が盛んであります。各組においては、会員はもとより家族の参加を含めた活動が盛んのです。しかし、県の活動には残念ながらその機会が少ないのが現状であります。私共が活動できるのも、家族の協力無くしてはありえないものと考えます。

会員家族の方々に神浄青の活動を認識していただき、家族の顔が見える浄青を目指してまいりたいと思います。

●神浄青：らしさを対内外へ発信

徳の諸上人によって創立され、以来平成十五年に30周年を迎えます。この記念すべき祝賀を皆で分かち合い、諸先輩が当会を立ち上げようとした志を次なる世代に、そして、さらなる節目に向かって継承していきける場を開催し、全会員と諸先輩方が神浄青という枠の中で、時代を越えた「自行・化他・和合」を通じたネットワークを広げる場としたいと思います。

また、同じ年に第31回関東ブロック総会並び研修会が、この神奈川教区担当で開催される予定であります。神奈川らしさを追求し、関プロ会員が有意義な研修の場となるよう、神浄青会員の英知を集結し、ホスピタリティーを持って諸般の準備を整えてまいりたいと思います。

そして、この二つの大きな事業を通して神浄青会員の意を一つにして、歴史と伝統ある神浄青らしさを対内外へ発信したいと思っております。

結び
今、青年僧侶として何を考え、何ができるのか？
今一度自己を見つめ、青年として一歩踏み込む勇氣と情熱と、自己に目的意識を持って挑戦する気持ち、「輪意和以」―Let's 和 GO 二―として諸事活動をしてまいりたいと思います。

皆様のご指導ご協力をいただき、邁進していききたいと思います。
何卒、宜しくお願ひ申し上げます。



まず伝弘の心を

大本山光明寺法主

宮林 昭彦 台下

新年度を迎え、夏見裕貴新会長のもと新役員が選任されて、いよいよ浄青活動がスタートされますこと、期待をこめて心より慶祝に存じます。

最近とくに感じますことは、現代のような多様化した価値観の中で、混迷した社会に対して、私たちはどのような視座に当たりて発言したらよいかということですが、

私たちは、宗門人ですから、当然宗祖の念仏のみ心を間違いない、伝灯弘通する使命があります。それは一器から一滴も漏らさず一器に移すように、いわゆる瀉瓶の伝弘の伝え方であります。

三祖上人は、「伝弘の伝とは先師に伝うるなり。弘とは遺弟に弘むるなり」と仰言っています。浄青会員の皆様は家庭の親子関係から、僧籍に入られてより寺庭の師弟関係が結ばれたわけです。一般家庭では父の背を見て子供が育つという譬えの如く躰けられますが、師弟関係は、出家生活の心得が加味されて、温かさだけでなく厳しさが求められます。

生死の家には疑いをもつて所止となし、涅槃の城には信をもつて能入となす（選択集）

私たちは凡夫ですから、能所の区別なく愚者に立ち還って念仏のご同行ですが、しかし一面能化善知識となって化導する立場であります。そのため観経の『孝養父母奉事師長』の心の上に立って、崩壊している家庭に、信のある、光り輝く、教化の実を挙げていただきたいと思えます。次の世代を担う若い人達に、是非とも若い力で現代に念仏の光を照らしてほしいと念じます。



常にスタート

神奈川教区教区長

成田 光俊 上人

浄青の皆様には、つねに教区事業にご協力いただき、且つご活躍されておりますこと有難いことです。この度、宮林会長には任期を終えられましたこと、ご苦勞様でした。歩巾まれました数々の足跡、日がたつにつれ光り輝くことと存じます。

夏見新会長には、ご就任お目出度うございます。スタッフともども、新年度の計画に思いをめぐらせていることと存じますが、この瞬間が大切です。数多くの記録を作るスポーツでも、必ずこのスタートがあります。

この時にはさまざまなのが頭に交差するのですが、日がたつと全てのことが出来て当然と、錯覚してしまうのです。それは自分たちに都合が良い見方、考え方をしてしまうからです。自分の考え方が正しいと、あまり我を張らないで、もう一度自分を振り返ってみる柔らかな心を備えることも大切です。

世の中はバランスを保つために移り変わりをしています。これが調和です。

教区や浄青の和がとれるのも、調和とお互いが助け合って下さるお陰です。たすけてくれて有難うという心が大事です。それが合掌の姿なのです。

皆さんがスタートに立った時に交差した思い、その心を保って活動されますことを念じ、先徳のお歌を贈って挨拶の文とします。

足あとの 残らば残れ

足あとの 消えねば消えぬ

ひとり旅行く



「輪意和以」
の精神で
ガンバります!!

第16期マスコットキャラクター
ユウくん



ユウくん
あとは
任せたぞ!

第15期マスコットキャラクター
おごちゃん



会長 退任 挨拶

第13代 会長

宮 林 雄 彦



会長 退任 挨拶文

「邂逅創心」であいが明日を創る」をテーマに二年間本当に皆様にお世話になりました。心からお礼申し上げます。

し、役員以外の方にも積極的

また神奈川教区教区長をはじめ、役職の皆様には絶大なご理解とご支援をたまわりました。私たちの向う見ずな事業に対しても、時には厳しく、時には温かく、丁寧に、ご指導いただきました。また大本山光明寺の皆様、神奈川教区諸大徳をはじめとして、多くの方々の励ましがあつたからこそ、かげになりひなたになりお力添えをいただきました。ここに心から感謝申し上げます。

この二年間「浄青が社会にいかに関わることが出来るか」という課題を自分なりに持つて臨んでおりました。そして同時に僧侶として、一人社会人として自らの持てる力を振り絞り、しっかりとした展望を持つて、同じ境遇である仲間と手を携えて一つの目標に向かつて進んでいく。浄青という組織で何が出来るのかを考えさせられる日々でした。浄青でなければ出来ないこと、浄青らしさとは? そういったことを常に考えながら事業を組み立てようと思しました。

組織の中核を担っていただき、責任感が強く、私欲にとられず、常に浄青のことを考えていただきました。この役員との「であい」が、そして同じチームを組めたことが15期事業における全ての成功の礎となったことは疑いない

浄青は生涯お付き合いさせていただきます。この「であい」を大切に、愛宗護法の輪を広げていきたいと思します。二年間本当にありがとうございました。

二年間ご苦勞様でした!



平成13年度事業報告

平成13年度事業報告

- 4月23日 大本山光明寺 定期総会 47名
 5月24日 大本山光明寺 第9回引声法要研修会 18名
 6月13日 大本山光明寺 第10回引声法要研修会
 6月19～20日 東京プリンスホテル 第29回関ブロ浄青総会並びに研修会
 (東京教区) 参加 41名
 6月25日 大本山光明寺 第11回引声法要研修会 14名
 7月1日 機関誌『浄青神奈川』第28号発行
 7月4日 大本山光明寺 大本山光明寺開山忌前清掃奉仕 36名
 7月30日 大本山光明寺 第12回引声法要研修会 19名
 8月28日 名古屋「ホテル マリオットアソシア」第31回全浄青中央研修会
 (東海ブロック尾張教区) 参加 23名
 9月17日 大本山善光寺大本願 関ブロ浄青三大本山別時念仏会参加 10名
 10月9日 大本山光明寺 第13回引声法要研修会 15名
 11月12～13日 明治神宮外苑軟式野球場・赤坂プリンスホテル 第19回関
 ブロ浄青スポーツ交流大会(東京教区) 参加 26名
 11月19日 鎌倉市深沢多目的広場 第19回教区长杯争奪ソフトボール大会
 (鎌倉組担当) 57名
 12月12日 「NICE BOSE 通信」第4号発行
 12月12日 「同發」別館 臨時総会 43名
 12月12日 「同發」別館 忘年会 46名
 1月24日 大本山光明寺 御忌別時 30名
 2月11～14日 タイ王国プリラム 海外仏教国小学生支援事業、校舎落慶
 式奉修 21名
 2月18日～19日 仙台東急ホテル3F 第27回全浄青代表者研修会参加
 9名
 2月28日 大本山光明寺 第14回引声法要研修会 14名
 3月22日 神奈川新聞厚生文化事業団 救援金寄贈(アフガニスタン難民
 支援) 2名
 3月26日 「NICE BOSE 通信」最終号発行
 3月26日 大本山光明寺 第15回引声法要研修会 15名
 4月6日 大本山増上寺開山堂 関ブロ浄青関東三大本山別時念仏会参加



導師・各組会長を式衆・大木
 魚打ちと礼拝の発声を各組代表
 が、一座を通して行いました。
 当日は厳しい寒さの中、それ
 を吹き飛ばすような会員の高ら
 かな念仏の音が本堂内に響き渡
 りました。参加者は三〇名でし
 た。

平成十三年度 御忌別時念仏会開催報告

平成十三年度御忌別時会は、一月
 二十四日午後四時から大本山光明寺
 本堂を会場に開催されました。本年
 も昨年同様、礼讃(日没礼讃)を取り入れた日常
 勤行式の次第構成とし、会長を導師・副会長を脇



全浄青第27回代表者研修会開催報告

全浄青第27回代表者研修会は、二月
 十八・十九の両日、仙台東急ホテルを
 会場に開催されました。昨年度が高齢
 者を主体にしたのに対し、今回は視聴
 覚障害者を主体とした研修で、一日目
 の第一部は、「聴導犬について」沿革
 説明と実演、第二部は、「視覚障害者
 及びその介助方法について」視覚障害
 者の説明とアイマスクを使つての視覚
 障害者介助体験実習をおこない、二日
 目の第三部では「点字について」のし
 くみと打刻実習でした。



なご同事業を実行するにあ
 たり、教区内全青年会、所属
 寺院また檀信徒に募金活動を展
 開し、教区より助成金をうけ総
 額一六〇万円の寄進を募り、校
 舎(鉄筋二階建て。一階が教
 室、二階が瞑想室)の完成と、
 教材や机、椅子の寄贈をした。
 会員一人ひとりの力と、事業
 に携った現地関係者の人々の力
 が一つに結集し、大変大きな事
 業を成功することができ、また
 当事業に対して多大なるご理解
 をいただき尊い浄財を喜捨され
 ました会員、所属寺院ならびに
 檀信徒の方々に、感謝いたしお
 礼申し上げます。

合掌



海外仏教国小学生支援事業 最終報告

実行委員長 平元正法



青年会では「アジアの仏教
 国の子供たちに、何か支援を」と
 と、平成十二年七月に「海外
 仏教国支援事業」の実行委員
 会を設立した。

本事業を発起するにあたり「人ひとりの力は
 微力でも、その力が集まれば大きなパワーとな
 る」という旗印をきっかけ、平成十二年九月にタ
 イ国プリラム地方の仏教系小学校を訪れ、同事
 業の支援内容を伝え、平成十四年二月十二日落
 慶法要が挙行された。
 詳細は以下のとおり。

平成十三年五月に建設工事を着工、同年には
 校舎が完成。事業発足より約二年の歳月をかけ
 平成十四年二月に落慶法要を迎えたることがで
 きた。この法要には、会長はじめ一行二十一名
 が参加し、法要に際し会長からタイ語での挨拶
 も行われた。

平成14年度事業計画

平成14年度
神浄青
ソフトボール大会
担当三浦組

大変だけど、かんばるぞ！
今年も異常な年。春の訪れが早く、四月初めに桜が満開、そして大阪では阪神タイガースが何十年振りかに勝ち狂っています。そしてなんと三浦組、しかも私が会長のときに、神浄青のスポーツ交流会を担当するということ、大変なことですが、他組さんのように立派な施設やグラウンドも三浦にはありません。そして、きれいなお姉さんは皆無いです。どこかへいっちゃたのか？
はたまた誰かが独り占めしているのだろうか？
さてどうやって皆さんにはじていただこうか、今から悩んでいます。



日時・内容に関しては、十一月十九日にソフトボール大会を予定しております。場所は現在交渉中です。
今年も異常な年。何が起ころかわかりませんよ。どうぞたくさんの方のご参加お待ち申しあげております。(三浦組会長 余郷 聡)

平成14年度総会報告

平成十四年度の神浄青総会は、四月十七日午後二時より大本山光明寺を会場に、会員総数一三六名中、出席者四三名、委任状六一名、合計一〇四名により成立・開催された。
当日は総会開会前に、まず光明寺大殿にて第十四代夏見会長のもと出席者全員で御回願おこない、会場の書院へと移動し開会となった。本年度は昨年十二月の臨時総会にて選出された第十四代夏見会長、そして第十三代宮林会長の挨拶の後、来賓として成田教区長からの御挨拶を頂戴した。総会は、議長に第十四代夏見会長を選任し議案審議に移り、定足数の確認・資料の確認・平成十三年度事業報告並びに決算、また第十六期副会長・監事の承認、そして平成十四年度事業計画並びに予算が承認され滞り無く終了した。
そして第十四代夏見会長より第十六期相談役の紹介に続き、各組浄青会長より事業計画等が発表され、各組の個性があらわれ和やかな雰囲気であった。本年度卒業会員九名の内、京浜組樋口上人へ第十三代宮林会長より記念品が贈呈された。また新入会員三名の紹介がおこなわれた。
最後に渡部監事より総会全体の総括が語られ、無事閉会となった。



平成14年度事業計画

- 4月17日 大本山光明寺 定期総会
- 4月17日 大本山光明寺 第1回理事会
- 5月15日 大本山光明寺 第2回理事会
- 5月22日 大本山光明寺 大本山光明寺落慶・晋山法要手伝い
- 6月1日 機関誌『浄青神奈川』第29号発行
- 6月3日 鎌倉 鶴ヶ岡会館 第15期・第16期 新旧役員歓迎会
- 6月20日 幕張 第30回関ブロ浄青総会並びに研修会(千葉教区・幕張プリンスホテル)
- 7月4日 大本山光明寺 大本山光明寺開山忌前清掃奉仕
- 7月4日 大本山光明寺 第3回理事会
- 7月28~30日 第55回夏期僧堂(関東地区教化センター神奈川教区大本山光明寺)
- 8月28日 新潟 第32回全浄青中央研修会(北陸ブロック新潟教区)
- 9月7日 場所未定 親睦事業(家族会)
- 9月中旬 大本山光明寺 第4回理事会
- 9月下旬 大本山光明寺 関ブロ浄青三大本山別時念仏会
- 10月9日 大本山光明寺 大本山光明寺十夜前清掃奉仕
- 10月9日 大本山光明寺 第5回理事会
- 10月14日 大本山光明寺 十夜手伝い、十夜托鉢(各組代表者)
- 10月29日 群馬教区担当 第20回関ブロ浄青ソフトボール大会(群馬教区担当)
- 11月19日 場所未定 第20回神浄青ソフトボール大会(三浦組担当)
- 11月下旬 大本山光明寺 第6回理事会
- 12月2日 場所未定 全体忘年会
- 1月24日 大本山光明寺 御忌別時念仏会
- 2月19~20日 総本山知恩院 全浄青代表者研修会
- 3月下旬 大本山光明寺 第7回理事会
- 平成14年度から平成15年度 場所未定 社会教化事業

新入会員紹介



三浦組東漸寺
小松崎成淳

生年月日 昭和54年4月5日
加年定満日 平成12年12月27日
好きな物 やき鳥
好きな食べ物 内山理奈・本上まなみ
趣味 テニス・読書・カメラ



中郡組大運寺
石垣一彦

生年月日 昭和38年4月6日
加年定満日 平成14年予定
好きな物 そば
好きな食べ物 田中麗奈
趣味 映画鑑賞



港南組正應寺
石川仁恵

生年月日 昭和53年4月30日
加年定満日 平成13年12月27日
好きな物 うどん・ピザ
好きな食べ物 長谷川京子
趣味 音楽・映画・人間鑑賞

和

以

役員紹介

副会長



斉藤 匡念

第16期夏見会長が就任され、大勢の諸先輩方が居られる中、この大役を仰せつかりまして、責務の重大さを実感するところでございます。「輪意和以」のテーマを心して浄青だから出来ること、今であるから1人でも多くの会員が共に悩み・考え、ぶつかり合いながら研鑽を重ね同じ目標に向かい共に感動を得る。その結果、僧侶どうしの信頼関係を築けるものと確信致します。夏見会長のもと、会員の皆様と共に、テーマを忘れることなく、念仏弘通の精神をもって自分らしさを消さずにこの役をまっとうできる様、精進させていただきます。

相談役



宮林 雄彦

夏見会長のもと相談役を努めさせていただきます。相談役は会長の意とするところを役員はじめ会員及び関係各所の皆様に伝え、スムーズに事業が遂行するお手伝いをさせていただくことと思っております。私自身が浄青に携われるのもいよいよあと少しとなりましたので、浄青の役割を会員同士で話し合い、何が「善」で「自分がどこにいるのか、どこへ行くか」として「のか」をしっかりと見据え、いままで諸先輩から教えられてきた浄青の真心を次の世代に伝えていきたいと思っております。皆様の御協力をぜひお願い致します。

会計



石川 参天

会計を任せられました港南組の石川参天です。第16期夏見裕貴会長の下、執行部の一員として神浄青会員皆様のご意見が反映された神浄青活動が出来よう努める所存です。これからの2年間どうぞ宜しくお願い致します。

相談役



杉浦 定徳

前期監事を引き受けたときは、これで役を務めるのは最後だと決めていました。実績はともかく、自分なりに精一杯やってきたという満足感もあり、後輩のメンバーが独自の発想と意欲をもって活動に取り組む姿を見ると、正直なところ自分の居場所がないような気がしたからです。

しかし、今期相談役を引き受けました。求めれば「出会い」はいくらでもひろがり、「出会い」が青年僧としての自分に大きな意味を有していたことを再確認したからです。

浄青会に「窓際」は不要です。残り2年、新たなる思いでのぞみます。

会計



小山 英紹

神浄青第16期夏見会長のもと会計を担当させていただく事になりました。あまり数字が得意ではないので皆様にご迷惑をおかけ致しますが、一生懸命がんばりますので皆様の暖かいご協力をよろしくお願い申し上げます。

書記



成田 善俊

この度、書記の任を受けさせて頂きました。全く初めての仕事なので何一つわかりませんが、皆様にご指導を仰ぎながら2年間動めていきたいと思っております。また、持ち前のパワーで夏見会長を盛り立てていきたいです。どうぞ宜しくお願いいたします。

編集委員長



曾我 高順

第16期神浄青編集委員長を務めさせて頂く曾我高順です。今期夏見裕貴会長のテーマである「輪意和以」の精神を忘れずに神浄青の活動を機関紙・対内誌・ホームページを通して皆様に楽しんでいただける広報活動に努めてまいります。

編集委員



水谷 知靖



進藤 法雄



相馬 正覚



松蔭 英宣



森本 有史



丸地 裕信



香川 陽祐



佐々木 元洋

第16期神浄青



第16期マスコットキャラクター

ユウくん

— Let's
和 GO !! —

輪

意

副会長



野口浩晶

今期、副会長をさせて頂く事になりました。前期は監事をし、これでお役御免になるかと思っていたのですが、出戻る形でまた執行部に戻って来てしまいました。今期もまた浄青会員の資質向上(自行)、社会教化(化他)、親睦(和合)の各事業と、神浄青30周年記念や関ブロ大会が神奈川で行なわれます！前期にも増して忙しい2年間になるのかと思いますが、夏見会長の下、精一杯頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します！

監事



渡部俊賢

神浄青第16期がスタートしました。第14代夏見会長の掲げる「輪意和以」の指針に基づき、2年間の活動をより多くの会員の皆様と共に、精進していきたいと思っています。事業計画を見ると、今期も前期同様、内容の濃い青年会活動が予想されます。一人でも多くの会員が事業に携わり、自行・化他・和合を実践し、さらに自己の糧として頂きたいと思っております。青年僧として今すべき事、いまだから出来る事。時間は戻ることがありません。多めにチャレンジしていきたいです。

監事



佐々木敬易

このたび夏見会長のもと第16期神浄青の監事にご選出・ご承認頂きました佐々木敬易でございます。前期事務局長が監事に昇任される慣例が仏教系青年会にはありますので、僭越ながら老醜を晒す覚悟で最後のご奉公としてお引き受けさせて頂きました。監事の仕事は中立公正の立場からの所謂見張り役なので、執行部・理事とはまた違う視点を持って夏見会長の和合の輪づくりのお手伝いを致したいと思っております。よろしく願いいたします。

事務局長



大橋定敏

この度、第14代夏見会長より神浄青事務局長を委嘱されました。今期夏見会長は「輪意和以」を活動方針とし、事業ごとに委員会を設立し、より多くの会員の方々に参加していただき、自行・化他・和合を目的とした事業を遂行していきたいと思っております。事務局としましては、円滑に事業が行えるよう心がけていきたいと思っております。至らぬゆえ皆様には諸事御迷惑をおかけしますが、この2年間よろしくお願い致します。

事務局員



柴田文彦



大谷正元



渡辺剛志

常任理事

小田原組



柴田幸博

中郡組



吉田健一

三浦組



余郷有聡

鎌倉組



當間浩昭

高座組



渋谷聡明

港南組



大橋俊史

港北組



井村真則

京浜組



白石隆弘

理事

小田原組



成田昌弥

中郡組



福田雅宏

三浦組



清水道善

鎌倉組



當間伸行

高座組



上田真彦

港南組



伊藤知道

港北組



石川和弘

京浜組



水谷知靖

8 組 紹 介

京浜組

港北組

港南組

高座組

会 長



白石隆弘

陣川会長の後を受けて、京浜組浄青の会長になりました白石です。

これからの2年間は、「伝法」を活動のテーマに考えております。

私が入会した当時から、現教区長の成田先生を講師に迎え、五重相伝などの伝法の研修会を研鑽し、佐々木・宮林両会長の時には、帰敬式をそれぞれ行うことが出来ました。

それらの研修の中で、「関東においては、さまざまな教化事業は行われているが、一番の根本となる五重相伝・授戒などの伝法が足りない」という、先生の言葉を聞き当組では初めての「授戒会」を2年後に行う予定です。

東京教区江東組では、定期的に五重相伝会・授戒会が行われていますが、これも浄青で第一回を開催したのがきっかけということを開き、今までの研修成果を突

せ、京浜組に伝法を根付かせるために、2年後の実現を目標に正会員、賛助会員一丸となって進んでまいりたいと思います。

合掌

副会長
事務局

水谷知靖

会 長



井村真則

今年度は夏見裕貴上人が神浄青の会長に就任され、大橋上人が事務局長に。そして大谷、柴田、渡辺、各上人も各事務局の中心となるスタッフということで、神浄青が今まで以上に身近に感じられ、これからの事業に対して少し緊張感が漂うような雰囲気の中組です。

組の事業といたしましては昨年度同様に法式の研修会を、講師には引き続き塩澤智彦上人に

お願いいたしました。内容は「慶事法要」についてです。4月の第1回目の研修会では初参り法要と七五三法要について勉強いたしました。これからあと3回の予定をしております。

葬儀や法事以外でみほとけさまのご縁を結ばせて頂ける法要として、その慶事法要の意義や内容の研究、実践に至るまで、ディスカッションを繰り返しながら有意義なものになるように会員の

「和」を持って勉強してゆけたらと思っております。

合掌

副会長



石川和弘

副会長



大谷正元

事務局



森 泰道

会 長



大橋俊史

石川寛順会長の後を受け、港南組の会長になりました大橋俊史です。

港南組は4名の先輩が卒業されました。会員数も少なくなりましたが、良い意味で取れば小回りが利くともいえるでしょう。

今年度の予定行事は3点です。

一つは鎌倉組と合同で年10回開催の『勅修御伝』講読研修会（講師柴田哲彦先生）。北条政子や九

条兼実などの話を含め、知っているようで実は知らない法然上人の伝記を一から勉強させていただいております。

二つめは港北組との合同の親睦会。今年は中津川マス釣場で6月末に行う予定です。

最後は青年会活動とは違うかもしれませんが、妻帯会員にとって大切な奥さま方の御慰勞会、日ごろの感謝と、在家から嫁いだ方が多いことから寺庭の交流を深めて

もらおうと食事会を開かせていただいております。

2年間背伸びをせず、他の会員と親睦を深めながら共に歩んで行きたいと思っております。

合掌

副会長



長谷川昌史

副会長



石川参天

事務局



伊藤知道

会 長



渋谷聡明

自分一人で何かをやろうとしても、なかなかうまくいきません。法事や葬儀が一人で出来ても、何かあったときに大切なのは仲間。いつでも気軽に声をかけあえる、そんな関係を育てるためには普段からの親睦が大切です。今期のテーマ「輪意和以」— Let's and GO!!— に添うべく、当組浄青では月1回以上の会員同士の交流を持ち、時には家族を交えながら親睦を深めていきたいと思っております。

近年は若い会員が増え、ますます活動も活発になってまいりました。新しい行事・活動が出来るかはわかりませんが、法式等の研修会で会員相互の研鑽をはかり、例年通りに念仏会（礼拝会）等もやりたいと思っております。

今年度も高座組青年会をどうぞよろしくお願いいたします。皆様積極的なご参加とご協力をお待ちしております。

合掌

副会長



曾我高順

事務局



藤本剛史

青 淨 内 県

鎌倉組

会 長



當間浩昭

この度、鎌倉組青年会の会長を務めることになりました、當間浩昭です。私のような者に会長という役が務められるかわかりませんが諸先輩や会員諸師の御指導のもと一生懸命務めるつもりです、どうぞよろしくお願ひします。副会長當間伸行、事務局吉田佳之上人、会計成實洋史上人又、監事として新原千春上人、富田浩雅上人にお願ひしております。平成14年度の事業といたしましては、昨年

度から引き続いて、港南組と合同で、柴田哲彦先生を講師に經典講読研修会（勅修御伝）、法式研修会、家族親睦会等を予定しております。

又、県浄青の事業にも積極的に参加していきたいと思っております。どうぞ鎌倉組青年会をよろしくお願ひします。 合掌

副会長



當間伸行

事務局



吉田佳之

三浦組

会 長



余郷有聡

第12期三浦組会長を務める余郷有聡です。

夏見会長、ご就任おめでとうございます。これからどうぞ指導のほどお願ひ申しあげます。

前期三浦組は慶野匡文 杉浦定徳 吉水祥史の三先輩による法式、伝道の研修を中心として、その成果として三崎光念寺より鎌倉光明寺までの念仏行脚を行いました。

今期三浦組は法式、伝道の研鑽

を受け継ぎつつ、新たに一般教養の向上を目指します。計画といたしまして国内外の他宗派、他宗教、他業種などとの交流、見学を予定しています。また一昨年より力を入れています関東ブロック研修会への参加、ならびに光明寺十夜出仕などの組外活動へさらに励んでいきたいと考えています。

本年度は県浄青ソフトボール大会の企画を三浦組が担当いたします。

いつもは笑いが売りの我が組ですが、それをヒタ隠し皆様が楽しめるようにソフトボール大会遂行に三浦浄青一同努力していきます。

慣れぬ努力に不備がでるかも知れませんが、それも今回のお楽しみと考え笑ってやってください。何かとお騒がせな組員達ですが、今期もよろしくおねがいします。

合掌

副会長



新藤法雄

副会長



松原尚樹

事務局



清水道善

中郡組

会 長



三荒弘道

この度宮澤正恭会長の後を受け、浄土宗神奈川教区中郡組青年会第8代会長を務めさせて頂くこととなりました。

本年度27年目を浄土宗神奈川教区中郡青年会は、21名の会員と共にスタート致します。長年にわたり中浄青を支え続けて頂いた一上人・石川上人がご卒業され、組織としては大きな痛手ではございますが、大蔵・大運寺 石垣上人が新たに加わり新制中浄青として心を1つにし、自行・化他・和

合の精神に基づき各諸事業に若い情熱で挑戦していく所存であります。

さて平成14年度の事業ではありますが、大きく2つの事業をもって展開してまいります。1つは「地球における浄土宗寺院役割の創造」と題し、昨年度からの「仏式結婚式をひろめよう事業」を切り口に、今後中浄青が望む社会教化事業の指針となるビジョンを策定する予定であります。

更にもう1つとして「浄土宗青

年僧侶の為のスタンダード研修の確立」と題して、浄土宗僧侶としてのアイデンティティーを確認できる研修プログラムを作成していく予定です。

また夏見会長率いる教区青年会事業にも積極的に参画していく所存であります。

今後のご指導ご協力を伏してお願ひ申し上げ、平成14年度中浄青事業計画報告並びに会長挨拶とさせていただきます。2年間宜しくお願ひ申し上げます。 合掌

副会長



相馬正覚

副会長



小山英紹

事務局



吉田健一

小田原組

会 長



柴田幸博

ここ数年、小田原組浄青会員のほとんどが勤めを持ち実質活動できる会員はごく僅かです。そうした事情からこれといった活動が出来ないのが現状でした。これについては前会長も頭を悩ませたに違い有りません。

そんな中、毎年12月23日に行われる小田原組浄青伝統の駅頭托鉢募金活動は寒風突き刺す中、会員の使命感とも取れる努

力により一度も途絶えることなく今日まで続いています。

しかし、これからの小田原組浄青を考えるに何かアクションを起こさなければ成らないと思ひ、とくに勤めを持つ若手会員が何に悩み、何を望んでいるかを聞き出すことができました。その結果は以外で、法事や通夜葬儀の一般法要でした。確かに実践仏教や加行で学んだ事を、

いざ実践に生かすには難しいことかもしれません。

そこで今期の小田原組浄青では勤めを持つ若手会員たちが活動に参加しやすい体制作りを目標に、目線を若手会員に合わせ活動日時を土曜日や日曜日の夕方にしたり等努力していきたいと考えています。 合掌

副会長



小杉孝祐

副会長



成田昌弥

事務局



岩崎正伸

卒業会員紹介



港南組
塩澤智彦

大学生になった十八歳の時から、神奈川教区浄土宗青年会に参加させて戴き、昨年度退会するまで二十五年間も大変にお世話になりました。



特に会長在任中は、私のワガママで水泳大

25年間という長い間の思い出は、語り尽くすことはできませんが、

会や、六時礼讃、写仏大会、ソフトバレーボール大会、船上忘年会、川崎球場でのナイターソフトボール大会等々、執行部の皆さんや諸先輩方、会員の皆さんにはご迷惑をお掛けしましたが、ご協力とご支援を戴きまして本当にありがたうございました。ここで、あ

鎌倉組
國松俊康

浄青手帳が始めて作られたのは野呂さんが会長の時だったと記憶している。



この手帳がなかなか便利なもので、当時私は大変重宝して愛用していた。誰その住所やら電話番号を調べ

とにかく思い出には事欠かない。そして何よりも多くの皆さんとこの思い出を共有出来たことを嬉しく思う。あらためてこの紙面を

「〇×さんは、もういい歳だね、もう浄青おわりじゃん」などと不遜なことを思っ、悪趣味な一時をたのしませて頂いた。

とにいかく思い出には事欠かない。そして何よりも多くの皆さんとこの思い出を共有出来たことを嬉しく思う。あらためてこの紙面を

鎌倉組
玉木弁生

とうとう楽しい楽しい浄青も、終わりを告げる時がやってまいりました。



今から二十年近く前になるでしょうか。善導大師千三百年遠忌に、浄青の事業として大

あつという間の二十年間を過ごして来た様に思います。現在は当

いを受け、参加したのが浄青活動の始まりでした。第五代会長の里見嘉嗣上人の大蓮寺さんを会場として、何度

最後に、これからもOBという立場をフルに活用(いや悪用)して、まだまだ浄青に参加させていただきます。

お借りして私の支えとなり、力となって下さった皆さんに感謝申し上げます。

浄青の魅力はその若さに他ならない。若気の至りは、多少大目に見るとして、青年にかなしえない斬新で柔軟な発想で前進を続けたいと思う。

合掌

港南組
永原道雄

現、神浄青第十四代夏見会長が、若かりし編集委員のころ、第八代小松崎会長より、第九代北邨会長、第十代国松会長のもと、六年間、編集長を務め



合掌





第16期マスコットキャラクター
ユウくん

卒業会員の 方々からの メッセージ



中郡組

一 真光



先日、「卒業に当たって一言」という原稿依頼を頂き、もうそんな年齢になったのかと一人しみじみと感慨にふけていた時、神浄青二十周年事業でまとめた「浄青神奈

川」の、第三号（昭和五十三年十月十日発行）組だよりの「新入会員 一真光・大正大学二年生、中浄青将来のエース。夏期僧堂に参加、大変よく協力してくれました。」という懐かしい記事を見つけ、当時は若気の至りで先輩方には大変迷惑をお掛けしたことを振りかえり反省しております。

大学卒業後十年ほど寺以外の仕事に就き、

川」の、第三号（昭和五十三年十月十日発行）組だよりの「新入会員 一真光・大正大学二年生、中浄青将来のエース。夏期僧堂に参加、大変よく協力してくれました。」とい

いの中から、心には信をしっかりと持ち、ぶつかり合いながらも仲良く、共に向上しあえる仲間と過ごしたいと活動をしてみたいと

の友と出会い、大いに飲み、大いに語り今の自分がここにあると感謝しております。
神浄青会員の皆様には、健康に十分気を付けていただき、本会の益々の発展を念じております。
合掌

京浜組

樋口芳宏



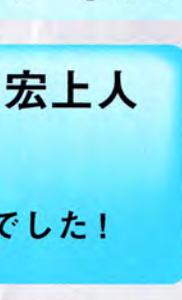
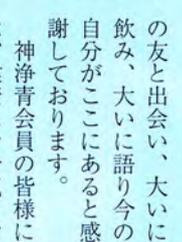
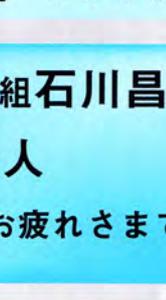
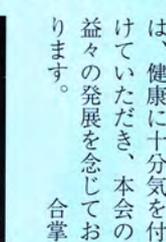
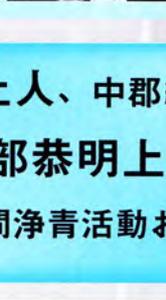
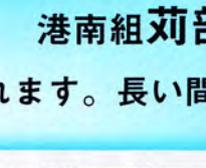
私が神浄青に参加させていたくようになったのは平成四年からです。最近では若い方の参加も増えていきますので、遅い方だったと思います。浄青活動に参加するにあたり、最初は色々と不安もありましたが幸いにも暖

かく迎え入れていただきました。また、教区の会計という役割を努めさせていただき大変有意義なときを過ごさせていただきました。組・教区・全

様々な機会を利用して積極的に活動に参加していただきたいと思います。住職になった後にも、その経験が必ずいかされるかと信じております。最後にになりましたが、神浄青が今後益々活発な活動を進め素晴らしい軌跡をのこされてゆきます事を祈念いたします。短い間ではありましたが、本当にありがとうございました。合掌



この他に港南組山澤常浩上人、中郡組石川昌宏上人
港南組苅部恭明上人
がご卒業されます。長い間浄青活動お疲れさまでした！



浄土宗神奈川教区中郡組青年会

「仏式結婚式をひろめよう事業」
研究発表会報告

去る平成14年3月25日、中郡組青年会は、結婚式場「パレスへいあん」を会場に13年度事業である「仏式結婚式をひろめよう」新理念「行華十念」研究発表会」を行った。



当日は、大本山光明寺法主宮林台下、成田教区長をはじめ組内外の諸大徳方、また法式・教習より西城・林田両先生、神浄青より前宮林会長、夏見会長ら多くの会員のご臨席を頂いた。

同会では、寺院が「地域の中心・文化の発信点」となっていくには...という観点から結婚式を取り上げた。

この結婚式の内容は、結婚する二人は三世に渡り共に歩み永遠であるという新理念「行華十念」を提案し、それを据えることにより、結婚した二人に寺院への思い入れや接点ができ、また行事の参加など、様々な連鎖反応を起こしていき、我々寺院が人の一生のサイクルに関わっていくことが出来るのでは、というものである。

当日の研究発表会では、パワーポイントによる式の説明、ホテル式模擬結婚式に参加される方を一般の人から募集し挙行された。その後、各テーブルでさまざまな観点から討議が交わされ多くのご意見・ご感想を頂き、新理念「行華十念」の研究への前進する大きな一歩となった。

また、今年9月に行われる「総合学術大会」での発表を予定している。

当日の発表内容・式次第等は、CD-Rに写してありますので興味のある方は、ぜひ中郡組までご連絡ください。



16期事業紹介

社会教化事業委員会 加藤光成 委員長



親睦事業委員会 成田昌弥 委員長



資質向上委員会 清水道善 委員長



神浄青創立30周年記念事業 富田浩雅 実行委員長



関プロ総会並びに研修会 三荒弘道 実行委員長



力を合わせて
成功させよう!

第16期マスコットキャラクター
ユウくん

編集後記

曾 今回の神浄青のテーマは「輪意和以」だよな
えつ、「輪廻転生」ですか？
佐 それは「輪廻転生おいらエイショウウ」だろ！
森 「リンニワイニ」ですか？それって何の意味があるんですかあ？
相 それは、あれだよ、ワイニが関係してるんだよ！色々、
丸 マーくん♡♡それは「リンニワイ」ですよ！っていうか、僕の車調子悪いんですよあつ、
曾 あつ、それで「レッツ」と「ゴー」だよな
相 マーくんつてよぶんじゃねえ！
松 なんかつてよぶんじゃねえ！
佐 えつ、「レッツ」ア「ゴー」ですか？
森 「レッツ」と「ゴー」だよ！
香 「レッツ」ア「ゴー」だつたら英語だろ
進 っていうか「レッツ」ア「ゴー」の「ア」は
進 いらぬですよ。英語だつたら
香 なんかつてよぶんじゃねえ！
相 つまり「リンニワイ」は何なんですか？
水 だから「輪廻転生」っていつてるだろ！
進 それで「レッツ」ア「ゴー」っていつてるだろ！
曾 嗚呼あああ頭がわるるううつ！
ナムアマダブツ...

輪意和以編集委員会



Let's 和 GO !! 編集委員会